



## ◆第6回建築女子フォーラムの報告◆

令和6年11月2日、第6回建築女子フォーラムが開催され31名が参加しました。今年度のフォーラムは、令和7年7月19・20日に本県で開催される「全国女性建築士連絡協議会（全建女）やまがた大会」のプレエクスカーションというかたちで行われました。やまがた大会実行委員会にて検討し選定した4コースに分かれて体験し、タイムスケジュールや内容について感想や意見を寄せていただき、よりよいエクスカーションになるよう検証するためです。本番は大会会場である山形テルサから出発し、帰りは山形駅着の予定ですが、今回は午前中の会議を終えてからの開催であったため、男女共同参画センターファールを出発地、到着地として行いました。

## ◆Aコース「文翔館とコパル」に参加して

山形支部 齋藤 尚子

Aコースは山形市内です。古い建物と新しい建物、そして山形の蕎麦をランチにと、とても良い企画と思い参加しました。

まずはランチです。場所は『そば処・郷土料理 紅山水』長谷川家の蔵を使ったそば処で、お土産やイベント蔵もあり、エクスカーションには最適です。食べたのは「季節の紅御前」女性好みの量と内容でした。本番は7月なので夏メニューを想像し、芋煮セットや蕎麦をメインになどの意見も出し合いながらランチを楽しみました。

最初の見学場所『文翔館』に向かいました。大正5年に建設した旧県庁をその当時の姿に復元し、今も多くの人々が活用しています。



↑ランチは季節の紅御前を堪能♪



↑ガイドさんの案内で文翔館を見学

山形市内の中心にあり、山形のシンボリックな私の大好きな場所です。ガイドさんの案内で1時間半の予定で見学しましたが『長い！疲れる！これではダメだ！』全てを回った後は疲れだけが残り、文翔館の良さは微塵も感じられませんでした。参加者も同じ感想で、ガイドさん付の見学は建築に関する所に絞って短くし、自由に見学できる時間も必要だと意見がでました。

次は、文翔館とは対照的な新しい形の児童遊戯施設『コパル』に移動しました。公共施設ですが、設計・建設・維持管理・運営は民間主導で行っています。障害の有無にかかわらず、多様な個性や背景をもった全ての子どもが対象で『生きる力を育む未来の遊び場』と謳っています。



↑国指定重要文化財 文翔館



↑児童遊戯施設コパル

遊び場だけでは無く、美しい景色も中に居て感じる事ができます。『山並みに呼応する雲のような屋根』も実際に見れば納得です。子ども達がどのように遊ぶのかが興味深いところです。全国からたくさんの方が見学に来るそうで、見学料が高くなりエクスカーションに組み込めるのか課題となりました。実現できる事を祈ります。

Bコースは食べて、見て、歩いてと、上山を存分に楽しめる内容と思い参加しました。  
昼食会場は「榎下丹野こんにやく」でこんにやく懐石料理をいただきました。



↑榎下丹野こんにやく正門入口



↑店舗玄関までの石畳

一品一品がすべてこんにやくで作られており、え？これがこんにやく？と驚きながら目でも口でも味わうことができました。

食事の後は店内でこんにやくを使った惣菜やお菓子などお土産を買ったり、離れのカフェでコンニャクスイーツやお茶を楽しみました。



↑懐石料理の一部 どれもこんにやくで作られています♪



↑美味しくて皆さん笑顔♪

続いて榎下宿の見学です。藩政時代に奥州諸大名の参勤交代の宿場として賑わった羽州街道。羽州街道榎下宿研究会の方々に案内いただきながら、川沿いに広がる古民家や石橋など当時の面影が残る町並みを見学できました。



↑大黒屋 茅葺が美しい



↑庄内屋 庄内藩主の常宿でした



↑石造の眼鏡橋 石材は凝灰岩

上山市には榎下宿の古民家4棟を含む計9棟の文化財に指定された茅葺屋根の歴史的建造物があり、茅葺文化を後世に伝えるために榎下地域内の耕作放棄地を茅場に再生させ、ここで収穫された茅を使って修繕する活動についてもお聞きしました。この活動には女性委員会の原田さんからお声掛けいただき数名参加させていただいています。

次はタケダワイナリーの見学です。ぶどう畑、屋外作業場、保管庫を見学、出荷までの流れなどを説明いただきました。その後売店に移動し、ワインの種類などお聞きしながら試飲させていただいたりお土産を買ったりしました。



↑保管庫を見学

当初計画していた通りのタイムスケジュールでBコースを体験して、それぞれの会場の滞在時間が課題と感じました。榎下丹野こんにやくは食後、店内での買い物やカフェの利用、お庭を散策したり自由に過ごす時間が必要ですし、榎下宿は町並みを慌ただしく歩いた感じでじっくり見学したいと思いました。同じ意見がありましたので、今回の体験を踏まえて皆さまに喜んでいただけるエクスカージョンとなるよう検討して行きたいと思います。



↑大黒屋にて 囲炉裏を囲んで話をお聞きしました

今年度のフォーラムは来年山形で開催される全建女「やまがた大会」のエクスカージョンの体験ということで、地元でもあるC：寒河江コース（チェリーランド昼食→クラッピン寒河江→慈恩寺→慈恩寺テラス→寒河江市役所→GEA）に参加しました。

次世代子育てステーション整備の児童福祉施設として令和6年4月29日にオープンしたクラッピン寒河江は、施設内中央のネット遊具「せかいじゅ」を中心に7エリアそれぞれで創作・音楽・スポーツ・外国を体験できる屋内の遊戯施設にくわえて屋外には



↑窓から外を望むのも楽しい♪



↑面白い♪ネット遊具せかいじゅ



↑クラッピン寒河江

グランピング・キャンプ・RVパークの宿泊施設も併設しており、チェリーランドの敷地利活用と県内外の利用者が楽しめる施設となっているのを感じました。プレオープン見学時とは違い、雨の土曜日ということもあってか施設内は家族づれで賑わい、実際に利用されている様子を見ながら工事担当者の説明を受けて一部遊具を体験するなど、利用者の温度も感じる事ができた時間でした。

その後は慈恩寺から黒川紀章氏の初期の作品ともなる寒河江市役所庁舎を見学。鉄筋コンクリート造地上5階建、総ガラス張り、2階が小さく3・4階が大きくなり出した特徴的な外観と2階から4階までの中心部が吹抜けになっている印象的な内観です。

平成15年にはDOCOMOMO（国際学術組織）の近代建築100選に選定、平成29年には国登録有形文化財（建築物）となった寒河江市の代表的な建築物です。2階ロビーから吹抜けを見上げると岡本



↑慈恩寺 本堂

↑庁舎ロビー吹抜け  
岡本太郎氏の  
オブジェ「生誕」

↑大江氏の家紋



↑入口ドアハンドル

太郎氏のオブジェ「生誕」と慈恩寺ともゆかりの深い「鎌倉殿の13人」の1人であり鎌倉時代から約400年間寒河江を治めた大江氏の家紋が目にとまり時代が交差した一面も見どころのひとつでした。

地元だからこそなかなかじっくり見学する機会がない地元施設。今回改めて見学者目線で訪れたことで、自分が住む街の歴史やこれからの利活用について見聞を深めるいい機会になったと感じました。全建女では盛りだくさんの内容をストーリー性をもって伝えることで、より心に残る印象的なコースになればと思いました。



↑浮遊する名建築 寒河江市役所庁舎

## ◆Dコース「天童コース」に参加して

天童支部 笹 玲央奈

令和6年11月2日に第6回建築女子フォーラムが開催されました。令和7年度は全国女性建築士連絡協議会が山形県で行われるということもあり、「エクスカッションの下見」というかたちでの開催でした。天童支部女性委員会はDコースでの参加となり、将棋タワーにて紅花染めと、天童木工のショールーム見学を行いました。

今回参加して紅花染というものを初めて知ったので、紅花の花のような朱色に染め上がるだろうと思っていたのですが、思っていたよりもずっと鮮やかでかわいいピンク色に仕上がったのはとても意外で驚きました。



↑紅花染めに挑戦！色も模様もきれいにできました♪



↑天童木工にてお話を伺いました



↑天童木工ショールーム

また、天童木工のショールーム見学では設立からの貴重なお話を聞くことができました。特に戦時中、木製のおとり飛行機を作成していたというお話はとても興味深かったです。土曜日だったため、残念ながら工場はお休みで見学する事ができませんでした。個人的に行ってみようと思います。



↑建築女子フォーラムに参加の皆さん ファーラロビーにて

あれこれをお読みくださりありがとうございます。  
全建女やまがた大会成功に向けて

女性委員会一丸となって準備を進めております。  
皆様方のご理解ご協力の程よろしくお願いたします。  
記事・写真をお寄せいただいた皆様、  
ご協力いただきましてありがとうございました。

山形県建築士会女性委員会では入会者募集中！

お問い合わせ：山形県建築士会  
TEL:023-643-4568  
<http://www.yamagata-ken.org>